九歴だより

No.49
2019.4

第50回企画展 発掘成果展

「三沢遺跡と三国丘陵周辺の遺跡」展開催

会 期 2019年7月17日(水)～10月6日(日)

場 所 九州歴史資料館第2・4展示室(観覧無料)

小郡市三沢遺跡は、弥生時代前期から中期を中心とする集落です。昭和40年代はじめ、三沢遺跡が位置する丘陵が九州縦貫自動車道建設のための土取場候補地として選ばれた事から、埋蔵文化財の試掘調査を実施しました。調査の結果、竪穴住居跡や貯蔵穴などが確認され、遺跡が良好な形で残されていることが明らかになりました。遺跡の重要性が認識されると市民による保存運動も起こり、その結果、昭和47年に遺跡の保存が決定、昭和53年には福岡県の史跡に指定されました。

今回の展示では、その後に行われた周辺遺跡の発掘調査成果も交えながら、県指定史跡三沢遺跡についてご紹介します。

タベのギャラリートーク

2019年7月26日(金)16:30～17:30

当館学芸員が展示解説を行います。

昭和47(1972)年撮影

展示室の天井工事に伴い、第1・3展示室については、2018年8月14日(火)～2019年10月11日(金)の間閉室する予定です。なお、他の展示室等は通常通り開室しています。ご利用の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします

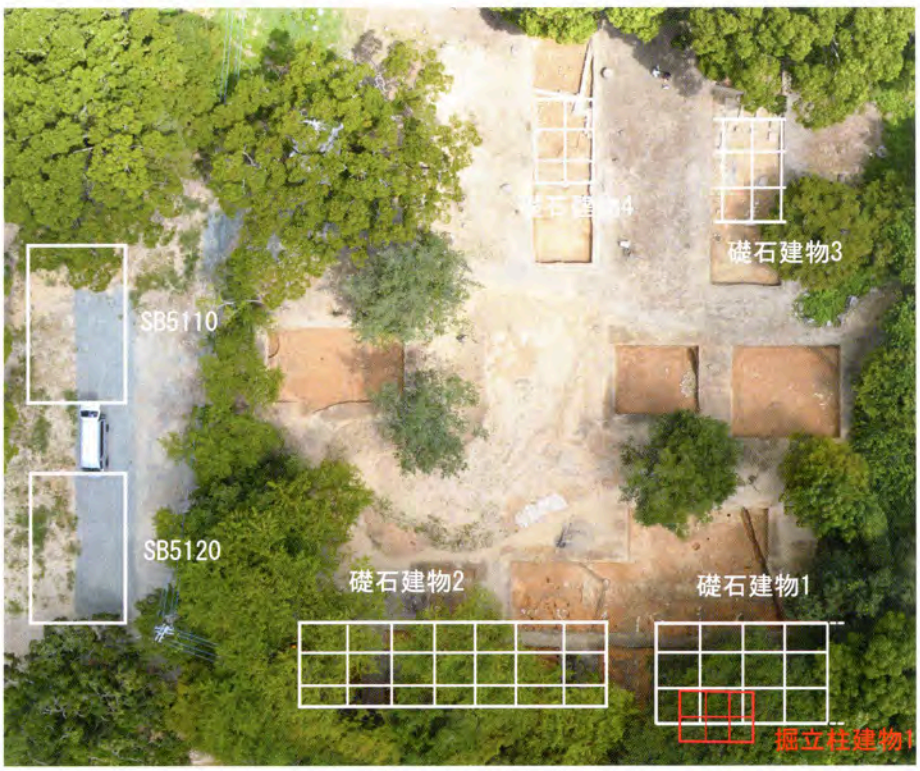
特別史跡大宰府跡蔵司地区の最新調査成果

古代の大宰府は、九州全体の行政や軍事、外交を担当した地方最大の役所で、その下には様々な実務を担う多くの行政機関（司・所）がありました。その一つが「蔵司（くらのつかさ）」で、九州各地から税として納められた特産品などを管理していました。当館が21年度より発掘調査を行っている大宰府政庁跡西側丘陵周辺の地名は蔵司（くらつかさ）で、古くより古代大宰府の「蔵司」があった場所と考えられてきました。蔵司丘陵南半部東側の広い平坦地を対象とした28～30年度の調査では、奈良・平安時代には総柱構造の瓦葺き礎石建物群（写真の白枠）を「コ」の字形に配置し、中央を広場とする構造であることが判明しました。

特に礎石建物群の北・西側の４棟は高床式倉庫とみられ、蔵司に蔵が存在したことが初めて明らかになりました。

また同時に、礎石建物群に時期的に先行する掘立柱建物（写真の赤枠）を発見したことから、蔵司丘陵では７世紀末前後の大宰府成立期から建物群が配置され、隣接する大宰府政庁とともに計画的な官衙の造営が行われたのではないかと推測されます。

今年度も引き続き、発見された建物群の配置や構造、時期等についての調査を予定しています。その成果については秋頃現地説明会等で公開しますので、どうぞご期待ください。



調査で判明した建物群

九歴名品探訪 Vol.8「黒釉四耳壺（県指定有形文化財）」

太宰府市推定金光寺跡出土品 元時代（14世紀）

この作品は出土した時は破片で、それをつなぎあわせたものです。言ってみれば「キズモノ」といえます。東京国立博物館に馬蝗絆（ばこうはん）と呼ばれる青磁碗（宋代13世紀）があります。中国・龍泉窯青磁の名品と言われ、破損し修理した作品です。その伝来や修理のあとの鎹（かすがい）までも多くの人が賞賛しています。つまり、「キズモノ」にも名品があるのです。

さて、本作品を見ると、堂々とした体部は「ただものではない」存在感を放っています。黒の釉薬はどろりとした重量感があり、その漆黒の色は吸い込まれる美しさがあり、胎土は釉の黒を強調する白で、白と黒の対比も見どころです。これは中国の磁州窯で作られたもので、同種の作品が韓国・新安海底遺物に見られるので、元時代14世紀の作で間違いありません。この時代の中国の焼き物は大作が多くあり、その時代の気分も感じられます。まさしく「名品」といえます。

文化財サイエンス・ラボ
Study8

「国際交流がもたらした唯一無二の輝き－船原古墳のガラス装飾付雲珠・辻金具－」

今から約6年前の平成25年3月末日、福岡県古賀市にある船原古墳のかたわらから大量の遺物が埋納された遺物埋納坑が未盗掘の状態で発見されました。遺物埋納坑からは古墳時代後期（6世紀末～7世紀初頭）の馬具や武具、武器など500点以上の遺物が、埋納された当時の状態のままで発見されたことで全国的にも注目を集めることになりました。

発見された500点以上の遺物は現在も古賀市教育委員会と九州歴史資料館が共同で調査を進めています。その中からは、極めて希少なガラスで装飾された雲珠（うず）と辻金具（つじかなぐ）が発見されました。

ガラス装飾付雲珠・辻金具は、発見当初は、白色の見た目や過去の事例から、南西諸島などに多く生息するイモガイの貝殻を加工したものと考えていました。しかし、調査を進めるにつれて、イモガイに特有の同心円状の筋が無いこと、ドーム状に淡く膨らむ形状などから「イモガイの装飾ではないのでは？」という疑問が生じてきました。見た目だけでは判断がつかないことから、科学的分析により白色部分の材質分析をおこなった結果、「鉛ガラス」という古代のガラスにより装飾されていたことが明らかとなりました。

ガラス 装飾付 雲珠・辻金具

ガラスで装飾された雲珠・辻金具は国内初の大発見です。同じ様にガラスで装飾された雲珠や辻金具は、韓国の慶州地域で発見されています。船原古墳から発見されたガラス装飾付雲珠・辻金具は、海を渡った朝鮮半島との国際的な交流を示す証拠としてとても貴重な発見になりました。さらに、大和にある日本の中央政権と九州、九州と朝鮮半島との関係性を知る上でもとても重要な発見であり、今後の調査によりさらに新たな事実が明らかになる可能性を秘めています。

ガラス装飾付辻金具の復元画像

今回ご紹介したガラス装飾付辻金具は、2019年3月19日（火）から開催する企画展示「船原古墳科学的調査の最前線-2018年度速報展示-」で公開します。ここでしか見ることのできない唯一無二の輝きを是非ご覧ください。

展示紹介 2019年度上半期に開催する展覧会

企画展「きゅうおにとタイムトラベルー大昔のくらしと国づくりー」

会期 3月19日（火）～7月15日（月・祝）　会場 第2・4展示室

縄文時代から古代のくらしについて、出土資料やイラストでわかりやすく解説します。

企画展　発掘成果展「三沢遺跡と三国丘陵周辺の遺跡」

会期 7月17日（水）～10月6日（日）　会場 第2・4展示室

九州歴史資料館の隣接地に保存されている三沢遺跡を中心に、周辺の弥生時代の遺跡を紹介します。

パネル展「保存科学成果展「古賀市船原古墳遺物埋納坑調査の最前線　2018-2019」」

会期 3月26日（火）～ 6月16日（日）　会場 文化情報ひろば

パネル展「シルクロードの文化遺産（3）海の道」

会期 6月18日（火）～ 9月16日（月・祝）　会場 文化情報ひろば

海のシルクロードに関する文化遺産を、西谷正名誉館長撮影の写真で紹介します。

パネル展「福岡鉄道遺産ものがたり7 筑後地区編」

会期 9月18日（水）～ 12月上旬　会場 文化情報ひろば

大宰府史跡指定100年記念ロゴマーク

九州歴史資料館・分館行事予定　【2019年4月～2019年9月】

九州歴史資料館	行事・事業予定
展　示	企　画　展：3月19日(火)～ 7月15日(月・祝)「きゅうおにとタイムトラベル－大昔のくらしと国づくり－」 7月17日(水)～10月 6日(日)「発掘成果展　三沢遺跡と三国丘陵周辺の遺跡」 パ ネ ル 展：3月26日(火)～ 6月16日(日)保存科学成果展 「古賀市船原古墳遺物埋納坑調査の最前線2018-2019」 6月18日(火)～ 9月16日(月・祝)「シルクロードの文化遺産(3)海の道」 9月18日(水)～12月上旬　「福岡鉄道遺産ものがたり7 筑後地区編」
古代体験	毎週土・日及び祝日に、九歴ボランティアによる古代体験実施中(予約不要、有料・無料有り)
講座・イベント	九 歴 講 座：毎月第2土曜日。定員160名。申込不要・11時より整理券配布、13時より開場 4月13日(土)九歴講座① 「徳田玉龍－朝鮮の霊峰を描く－」 5月11日(土)九歴講座② 「筑豊炭田遺跡群の歴史的価値について－日尾炭坑跡を中心に－」 6月 8日(土)九歴講座③ 「屋形古墳群と筑後の装飾古墳」 7月13日(土)九歴講座④ 「福岡県の近代和風建築」 8月10日(土)九歴講座⑤ 「大名正室の日常・非日常－柳川藩主立花鑑寛の正室、純姫」 9月14日(土)九歴講座⑥ 「三沢遺跡と三国丘陵周辺の弥生遺跡(仮)」 ﾀﾍﾞのｷｬﾗﾘｰﾄｰｸ：7月26日(金)企画展『三沢遺跡と三国丘陵周辺の遺跡』 イ ベ ン ト：4月 7日(日)桜コンサート 4月28日(日)小郡高等学校琴部演奏会・茶道部茶会 5月16・23日(木)春の大人組紐講座 6月15日(土) ナイトミュージアム in 九歴(4月頃より募集開始) 7月30日(火) 平日古代体験開催 8月 3日(土) きゅうれき七夕イベント 8月 7日(水) 平日古代体験開催 8月下旬 なるほど!!こども歴史教室2019
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区)・県内遺跡発掘調査2019年4月～2020年3月

★第1・3展示室閉室日　～2019年10月11日(予定)
★日程未定については、決まり次第当館ホームページや館内配布チラシ等でお知らせします。また、内容・開催期間は変更することがあります。詳しくはお問い合わせください。

求菩提資料館 〒828-0085 豊前市大字鳥井畑247 TEL・FAX 0979-88-3203	常　設　展：「求菩提修験道の世界」 企　画　展：4月20日(土)～5月26日(日)春の企画展「中国画家　盧秋　作品展」 4月20日(土)～5月26日(日)第8回「ふるさと写真コンクール」入賞・入選作品展 7月20日(土)～9月 1日(日)夏のミニ企画展 「求菩提で活躍！鬼と天狗」(仮) 市民歴史講座：テーマ「修験道あれこれ」 6,7,9,10,11月に開講 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします。
甘木歴史資料館 〒838-0068 朝倉市甘木216-2 TEL・FAX 0946-22-7515	常　設　展：第1展示室「朝倉の農業と産業」/第2展示室「朝倉の考古資料」 4月27日(土)、展示室をリニューアルします。豊かな水とともに生きてきた朝倉地域の暮らしと産業、重要な考古資料をご覧ください(第1展示室は3月26日から4月26日まで閉室とします)。 ひみこ講座：全10回(4月・翌年3月を除く毎月第3日曜日)定員各回40名　朝倉地域の歴史・文化を紹介する講座です。 5月上旬から申し込み開始。詳しくは館HPを御確認ください。
柳川古文書館 〒832-0021 柳川市隅町71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559	常　設　展：4月11日(木)～5月6日(月・祝)、7月3日(水)～9月29日(日)「古文書を楽しむ－見方・読み方・調べ方」会期中、一部展示品の入替をおこないます。 企　画　展：～4月7日(日)「松井家・立石家のおひな様」 5月9日(木)～6月30日(日)「今田淳子展」(柳川アーティストインレジデンス事業) 古文書入門講座：7月に募集予定、8月から9月の土曜日に実施予定(全4回) 古文書を集中して学ぶ初心者のための講座です。

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページまたは直接お問い合わせください。

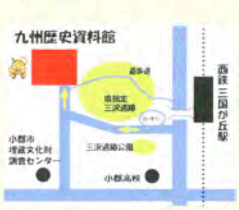
九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106
福岡県小郡市三沢5208-3
☎ 0942-75-9575
FAX 0942-75-7834
URL http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/

開館時間　午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
観 覧 料　一般200(150)円　高校生150(100)円
※満65歳以上・中学生以下・障がいのある方（同伴介護者1名）無料
※土曜日は高校生も無料
※(　)内は団体料金(20名以上)
休 館 日　月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)

●公共交通機関
《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩約10分
《　JR　》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分
《小郡市コミュニティバス》東野・美鈴が丘ルート「九州歴史資料館」下車
西鉄三国ヶ丘駅西口から約3分(9:57・15:09)
日・祝は運休

●自動車
《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で15分
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分



九歴だより　平成三十一年四月（第四十九号）
編集・発行　九州歴史資料館　印刷　株式会社アカマ印刷